

## 1. 汚水処理施設の整備状況について

### (1) 平成 19 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 15 年度認定の 4 市町（別紙 1 参照）は、平成 19 年度末をもって連携事業を完了したが、これら市町における、認定時点の汚水処理人口普及率、認定時点における汚水処理人口普及率の目標値、完了時点の汚水処理人口普及率を取りまとめた（別紙 2）。

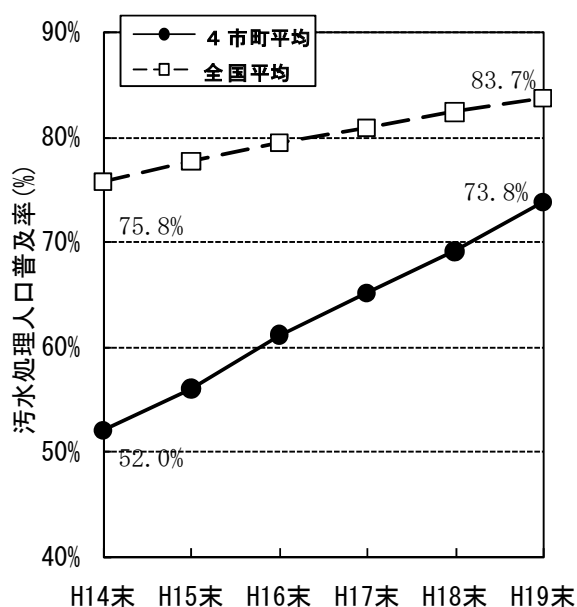
連携事業の認定から平成 19 年度末までに、兵庫県西淡町（現：南あわじ市）において下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設が新規に供用開始され、山形県酒田市及び香川県飯山町（現：丸亀市）においては農業集落排水施設が新規に供用開始された。また、各市町において浄化槽の整備も進められ、順次供用が開始された。

平成 19 年度末の汚水処理人口普及率は、連携事業着手前である平成 14 年度末と比較して急上昇しており、山形県酒田市で 84.3%(+26.2 ポイント)、愛知県新城市で 59.5%(+8.4 ポイント)、兵庫県西淡町（現：南あわじ市）で 47.0%(+32.8 ポイント)、香川県飯山町（現：丸亀市）で 63.9%(+18.2 ポイント)となった。

全国の汚水処理人口普及率は、平成 14 年度末には 75.8%であったものが、平成 19 年度末では 83.7%になり、5 年間で 7.9 ポイント上昇したが、平成 15 年度認定市町についてみると、この 5 か年の間に平均で 21.8 ポイント上昇した。

連携事業の実施により、汚水処理施設整備の促進が図られたといえる。

[平成 15 年度認定市町における効果事例]



※) 平成 19 年度に連携事業を完了した 4 市町の汚水処理人口普及率の平均の推移である。

## (2) 平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の状況

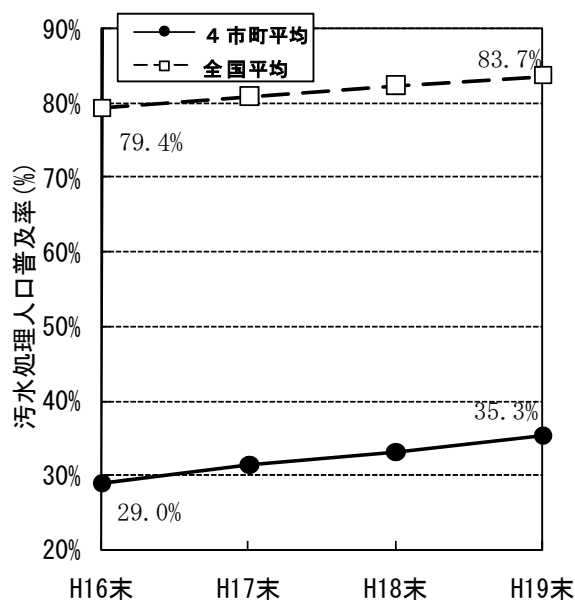
平成 17 年度認定の 4 市町（別紙 1 参照）は、平成 19 年度で連携事業の中間年度（3 年目）を迎えたが（平成 21 年度で完了予定）、これら市町における、認定時点の汚水処理人口普及率、平成 19 年度末時点の汚水処理人口普及率、認定時における平成 21 年度末の汚水処理人口普及率の目標値を取りまとめた（別紙 3）。

連携事業の認定から平成 19 年度末までに、島根県西ノ島町において下水道が新規に供用開始され、島根県隠岐の島町においては、漁業集落排水施設が新規に供用開始された。また、島根県益田市において農業集落排水施設が新規に供用開始されており、各市町において浄化槽の整備も進められ、順次供用が開始されている。

平成 19 年度末の汚水処理人口普及率は、連携事業着手前である平成 16 年度末と比較して 3 年間で順調に上昇しており、島根県益田市で 25.0%(+5.9 ポイント)、島根県西ノ島町で 57.8%(+7.5 ポイント)、島根県隠岐の島町で 32.5%(+3.2 ポイント)、山口県平生町で 72.8%(+11.0 ポイント)となった。

全国の汚水処理人口普及率は、平成 16 年度末には 79.4%であったものが、平成 19 年度末では 83.7%になり、3 年間で 4.3 ポイント上昇したが、平成 17 年度認定市町についてみると、この 3 か年の間に平均で 6.3 ポイント上昇した。

[平成 17 年度認定市町における効果事例]



※) 平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた 4 市町の汚水処理人口普及率の平均の推移である。

## 2. 汚水処理施設からの放流水質の状況について

### (1) 平成 19 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 19 年度に連携事業を完了した市町の各汚水処理施設における平成 19 年度末時点の年平均放流水質を調査し、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) 等各値を取りまとめた (別紙 4)。

下水道の年平均の放流水質は、4 箇所の終末処理場で調査した結果である。農業集落排水施設の年平均の放流水質は、8 箇所の汚水処理施設で調査し、漁業集落排水施設の年平均の放流水質は、3 箇所の汚水処理施設で調査した結果である。また、浄化槽の放流水質は、補助事業による総設置基数 2,472 基中 393 基 (SS は 3 基) で調査した結果である。

	p H	B O D (mg/l)	S S (mg/l)
下水道	6.6~7.4	1.5~6.4	1.6~4.9
農業集落排水施設	6.6~7.4	1.4~7.7	1.3~7.3
漁業集落排水施設	7.2~8.6	2.9~5.4	1.2~3.6
浄化槽	3.6~8.5	0.4~160.0	0.6~6.0

### (2) 平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の状況

平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の各汚水処理施設における平成 19 年度末時点の年平均放流水質を調査し、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) 等各値を取りまとめた (別紙 5)。

下水道の年平均の放流水質は、5 箇所の終末処理場で調査した結果である。農業集落排水施設の年平均の放流水質は、4 箇所の汚水処理施設で調査し、漁業集落排水施設の年平均の放流水質は、12 箇所の汚水処理施設で調査した結果である。また、浄化槽の放流水質は、補助事業による総設置基数 1,526 基中 95 基 (BOD は 64 基) で調査した結果である。

	p H	B O D (mg/l)	S S (mg/l)
下水道	6.8~7.0	1.9~11.9	2.4~12.3
農業集落排水施設	6.6~7.0	1.2~9.9	1.2~5.9
漁業集落排水施設	6.2~7.3	1.1~21.6	1.3~10.7
浄化槽	3.3~7.7	0.5~110.0	—

### 3. 公共用水域の水質保全に向けた地域の取組

#### (1) 平成 19 年度に連携事業を完了した市町

平成 19 年度に連携事業を完了した市町では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取組がなされている。

都道府県名	市町名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取組
山形県	酒田市	「きれいな川で住みよいふるさと運動」による清掃美化ボランティア活動、地域自治会長等からなる下水道推進協議会の実施
愛知県	新城市	市広報誌等による PR 活動、市民参加による「水生生物調査」や「環境教室」の開催
兵庫県	西淡町 (現：南あわじ市)	ケーブルテレビや市広報誌を活用した PR 活動
香川県	飯山町 (現：丸亀市)	住民参加の『川の日』に「土器川生物公園」で自然と遊ぼう！』による河川の一斉清掃活動

#### (2) 平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町

平成 19 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取組がなされている。

都道府県名	市町名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取組
島根県	益田市	下水道推進協議会等を通じての啓発活動、住民により構成される生活環境整備事業推進協議会を通じた水洗化の促進と水質保全の啓発活動
島根県	西ノ島町	各地域の下水道推進委員による啓発活動や町の広報による PR
島根県	隠岐の島町	町による戸別訪問や推進協議会等を通じての啓発活動
山口県	平生町	町広報誌への掲載